

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 7 日(2023.9.7)

【公開番号】特開 2023-52538(P2023-52538A)
【公開日】令和 5 年 4 月 11 日(2023.4.11)
【年通号数】公開公報(特許)2023-067
【出願番号】特願 2023-7023(P2023-7023)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)
H 1 0 K 50/86(2023.01)
H 1 0 K 59/10(2023.01)
G 0 9 F 9/00(2006.01)
C 0 9 J 7/38(2018.01)
C 0 9 J 133/00(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30
H 1 0 K 50/86
H 1 0 K 59/10
G 0 9 F 9/00 3 1 3
C 0 9 J 7/38
C 0 9 J 133/00

20

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 8 月 29 日(2023.8.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学フィルムと該光学フィルムの一方向の面に粘着剤層とを有する粘着剤層付光学フィルムであって、

該粘着剤層付光学フィルムは、矩形以外の異形を有し、

該粘着剤層の 85 におけるクリープ値が $5\mu\text{m} \sim 50\mu\text{m}$ であり、
該異形における該粘着剤層の糊欠け量が $80\mu\text{m}$ 以下である、
粘着剤層付光学フィルム。

【請求項 2】

前記粘着剤層の厚みが $2\mu\text{m} \sim 20\mu\text{m}$ である、請求項 1 に記載の粘着剤層付光学フィルム。

40

【請求項 3】

前記粘着剤層の 85 における貯蔵弾性率が、 $1.0 \times 10^4 \text{Pa} \sim 1.0 \times 10^6 \text{Pa}$ である、請求項 1 または 2 に記載の粘着剤層付光学フィルム。

【請求項 4】

前記粘着剤層のゲル分率が 55% ~ 95% である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の粘着剤層付光学フィルム。

【請求項 5】

前記粘着剤層の膨潤度が 10 倍 ~ 35 倍である、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の粘着剤層付光学フィルム。

50

【請求項 6】

前記光学フィルムが偏光子を含む、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の粘着剤層付光学フィルム。

【請求項 7】

前記光学フィルムが位相差層をさらに含む、請求項 6 に記載の粘着剤層付光学フィルム。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれかに記載の粘着剤層付光学フィルムを含む、画像表示装置。

10

20

30

40

50